



キョーシン精工

第42期

(対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



作成日: 2024年10月1日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

エコアクション21を活用して 環境への取組を推進していきます

環境経営方針

環境経営理念

(有) キョーシン精工は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し環境保全と継続的な改善に努め、人に優しい工場環境の実現を目指して行動します。

環境保全への行動指針

1. 電力、燃料の消費による二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
2. 資源エネルギーの節減に努めます。
3. 不良による資源の消費量、廃棄物量を削減する。
4. 分別、リサイクルによる廃棄物の軽減化に努めます。
5. 節水による水資源の利用削減に努めます。
6. 環境側面に関する法令及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
7. EMSの継続的な改善と事業活動による環境汚染の予防に努めます。
8. 環境に配慮した製品またはサービスを提供します。



制定日：2024年10月1日

(有) キョーシン精工
代表取締役社長 長崎 紀夫

組 織 の 概 要

更新日：2024年10月1日

(1) 名称及び代表者名

(有) キョーシン精工
代表取締役社長 長崎 紀夫

(2) 所在地

本 社 長野県上伊那郡宮田村1997
第二工場 長野県上伊那郡宮田村大田切

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 長崎 紀夫 TEL：0265-85-5115
担当者 竹澤 習 FAX：0265-85-5118

(4) 事業内容

プラスチック成型型・プラスチック製品の製造・販売・組立・加工

(5) 事業の規模

第42期年度	399,620	千円				
	本 社	第二工場				合計
従業員	名 15 名	5 名				20名
延べ床面積	m ² 2192 m ²	1404 m ²				3,596m ²

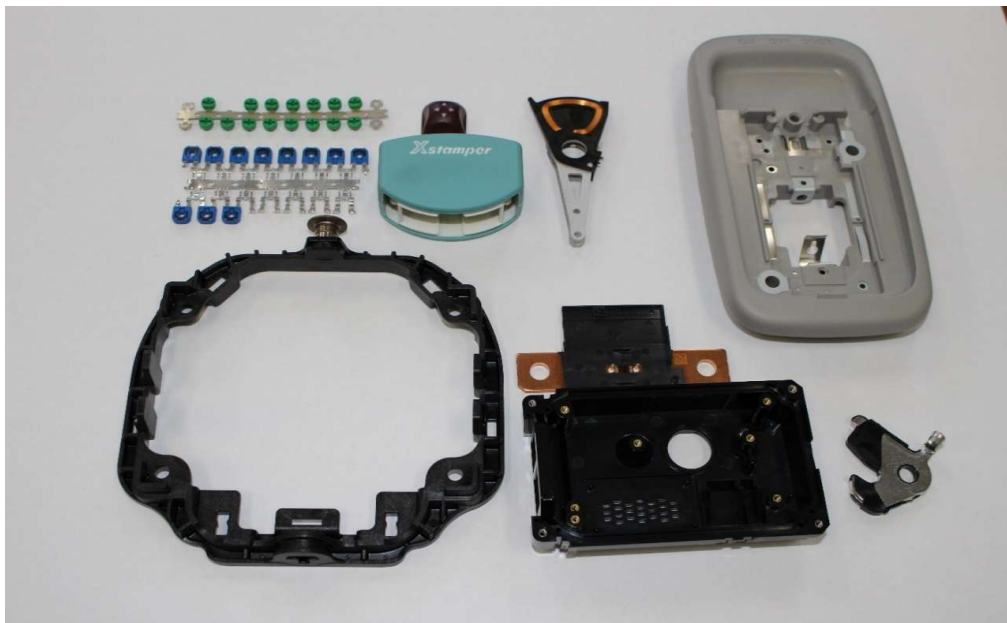
(6) 事業年度 2023 10 月 1 日 ~ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： (有) キョーシン精工
対象事業所： 本 社
第二工場

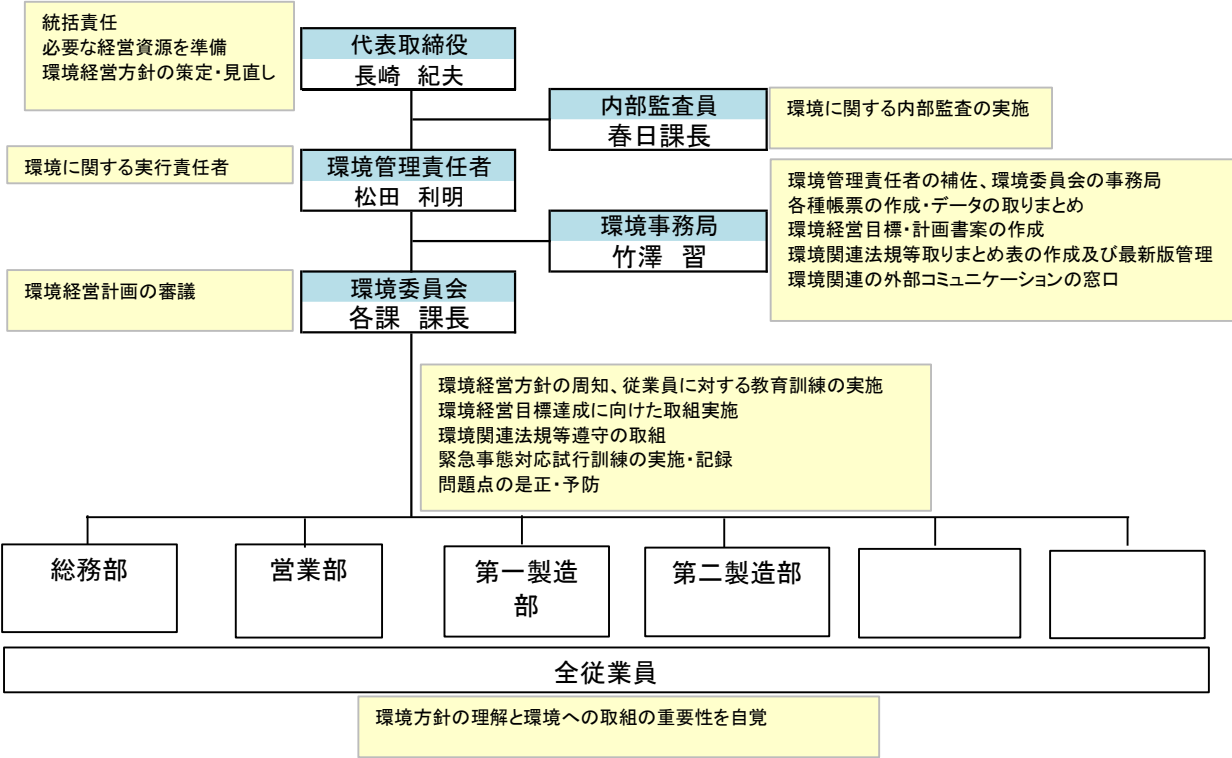
活動：プラスチック成型型・プラスチック製品の製造・販売・組立・加工

□事業や製品(商品)の紹介



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2024年10月1日



主な環境負荷の実績

項 目	単位	第40期	第41期	第42期
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	305,559	315,981	286,986
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	0	0	0
産業廃棄物排出量	k g	1,557	1,250	1,675
水使用量	m ³	3,901	334	1,236
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.493	0.493	0.493

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

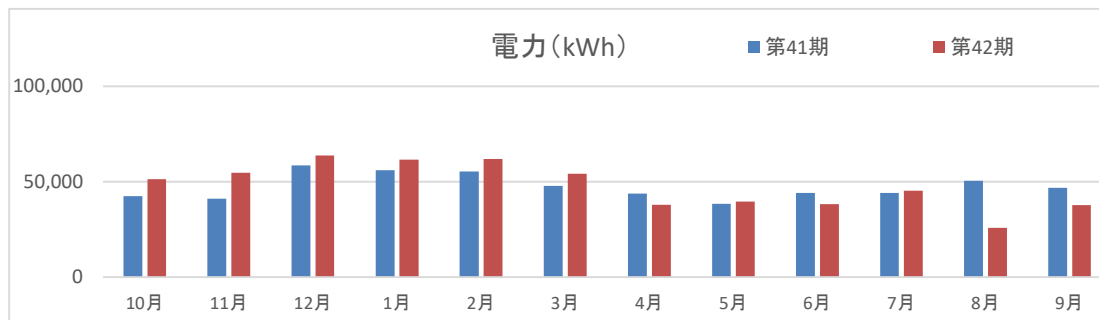
年 度		基準値	第42期		評価	第43期	第44期
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	280,081	277,280	281,775	×	274,480	271,679
	基準年度比	第41期	99%	101%		98%	97%
	原単位	kWh/百万円	1.680	1.663	○	1.646	1.629
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	211	209	565	×	206	204
	基準年度比	第41期	99%	268%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,615	1,599	4,647	×	1,583	1,567
	基準年度比	第41期	99%	288%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	281,907	279,088	286,986		276,269	273,450
産業廃棄物の削減	kg	1,645	1,629	1,675	×	1,612	1,596
	基準年度比	第41期	99%	102%		0.98	0.97
水道水の削減	m ³	3,134	3,103	1,236	○	3,071	3,040
	基準年度比	第41期	99%	39%		98%	97%
化学物質の管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

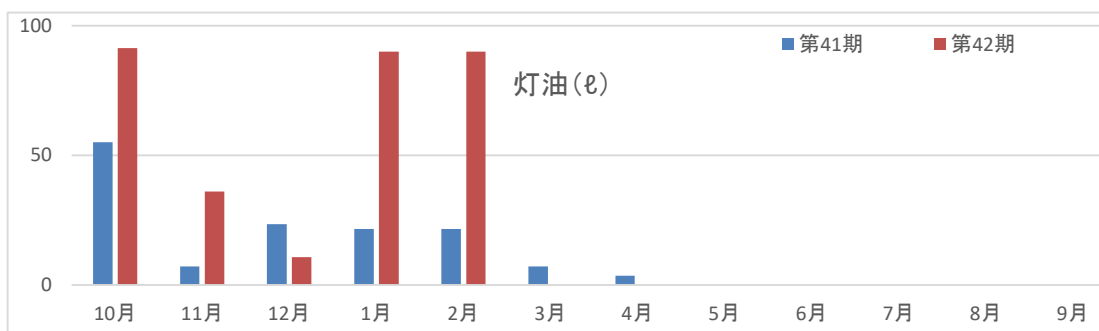
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】前年に比較して生産量が増加したので比例して増加した。 【次年度の取組】引き続き活動を継続する。照明のLED化や不要な機器の停止を行う。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	×	
・生産方法の改善による時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



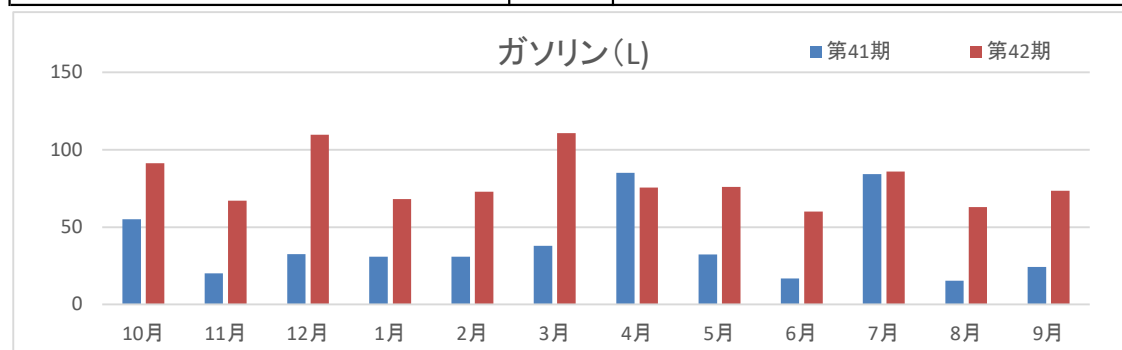
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第41期	42,356	41,079	58,500	55,993	55,294	47,664	43,883	38,338	44,102	44,102	50,352	46,825
第42期	51,249	54,596	63,727	61,644	61,868	54,169	37,818	39,583	38,140	45,317	25,754	37,686

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】おおむね目標数値となった。 【次年度の取組】引き続き活動を継続する。窓や建物の断熱対策を行う。
原単位目標	×	
・暖房温度の適正化	○	

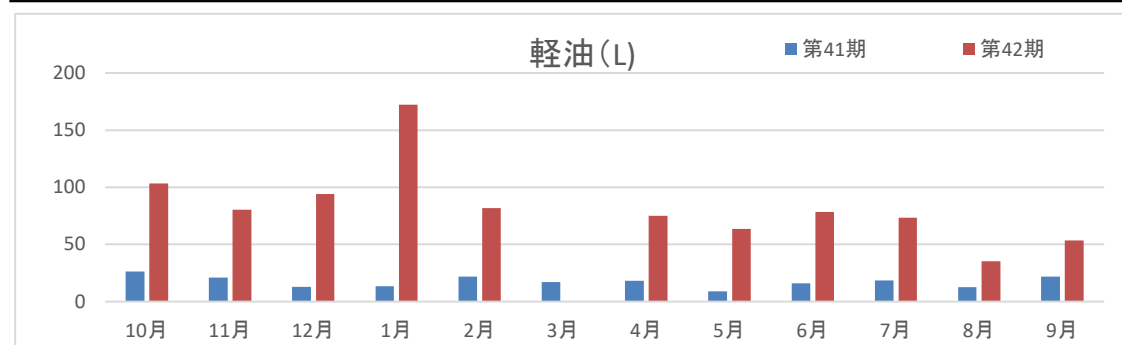


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第41期	55	7	23	22	22	7	4	0	0	0	0	0
第42期	91	36	11	90	90	0	0	0	0	0	0	0

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】コロナ禍の影響で使用量が減少した。
・アイドリングストップ	○	【次年度の取組】引き続き活動を継続する。
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	△	

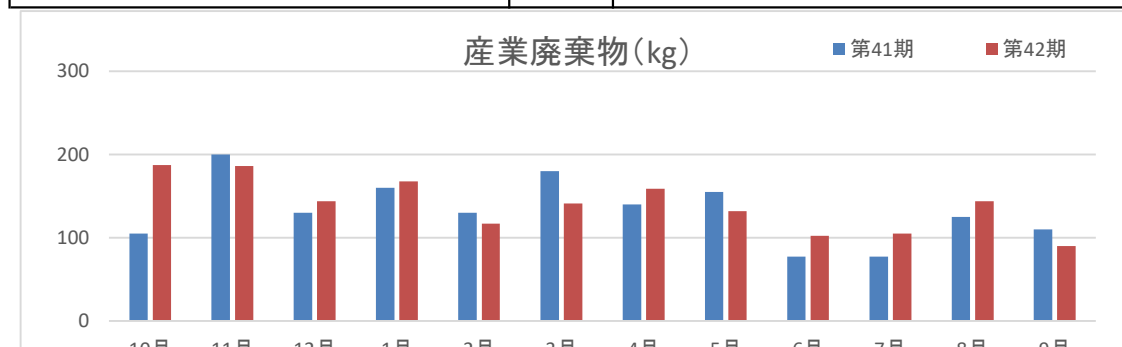


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第41期	55	20	33	31	31	38	85	32	17	84	15	24
第42期	91	67	110	68	73	111	76	76	60	86	63	74



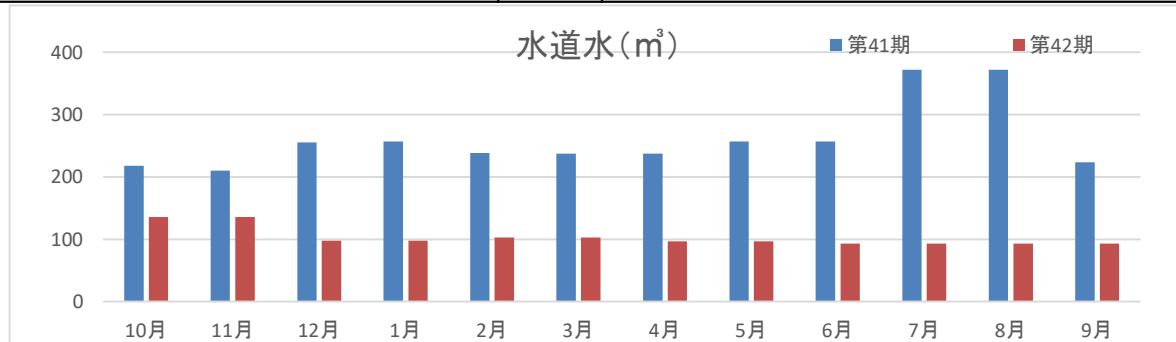
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第41期	26	21	13	13	22	17	18	9	16	18	12	22
第42期	103	80	94	172	82	0	75	64	78	73	35	53

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】生産の影響で増加した。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	【次年度の取組】分別の徹底を行う。
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第41期	105	200	130	160	130	180	140	155	77	77	125	110
第42期	187	186	144	168	117	141	159	132	102	105	144	90

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】冷却水として使用したので増加した。
・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	【次年度の取組】冷却塔の使用などで改善する。
・ 自動水栓取り付け	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第41期	218	210	256	257	239	238	238	257	257	372	372	224
第42期	136	136	98	98	103	103	97	97	93	93	93	93

化学物質の管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】化学物質の使用はなかった。
・ SDSの管理	○	【次年度の取組】引き続き適正管理に努める。
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ 持続可能な原材料の採用	○	【評価】適正使用ができた。
		【次年度の取組】引き続き適正管理に努める。
課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ 技術の継承	○	【評価】日々の活動で実践できている。
・ 企業価値向上による顧客獲得	○	【次年度の取組】引き続き実施に努める。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
水質汚濁法	油流出（緊急時処置）
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

環境上の苦情は当該年度ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年7月15日（木） 10：00～10：30	■実施場所 本社工場
■参加者： 全員	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 火災を想定して訓練を実施した。	
■評価： 計画どおり実施できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月30日

- 【目標の達成状況】
電力使用量は増加したが、原単位で見ると改善できた。自動車燃料は削減できた。
 - 【法令等の遵守状況】
適用される関連法規についての遵守状況は十分に満足されている。
 - 【外部からの苦情要望】
苦情、要望事項としては一件もない。
 - 【環境法規制の改正、環境に関する新しい技術などの情報】
特になし
 - 【前回までのマネジメントレビュー】
前年同様に「行程不良の削減」、「生産性の向上」が大きなテーマである不良削減、工数削減について具体的な内容が欲しい。
 - 【改善のための提案】
部門全体には改善活動がなされている。
- 社長の評価
例年のことであるが、売り上げの増加と原価低減により利益確保することと、環境負荷低減のため活動目標を見直し活発な活動を期待する。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり